

## 6年生の理科 大学の境先生と



5日（月）、大学の境先生に理科の授業をしていただきました。

今日は、身の回りの石を、科学的に分類するというもの。石同士をこすったり、音を出したり、光にかざしたり、においをかいだり……。五感をフルに使って、特徴を見出し、様々な考えを出し合いながら分類していました。



「これ、川岸にあった石だと思う。」「この石、ちょっとにおいが独特。」  
それぞれに気づいたことを話し出す子供たち。

5年生時に学習した「流れる水のはたらき」を思い出したり、阿寒での経験をもとに考えたり、1時間いっぱい、石と向き合い、楽しく集中して学習していました。

北海道の歴史や自然環境を追究する学習として、7月に行く「常呂みどりの学校」、秋に行く防災についての学習、鉄作りなど様々な学びにつながっていきます。

大学の先生の専門的な知識に触れ、子供たちは立派な「石博士」になっていましたよ。  
来週も楽しみですね。



3年生が、附小の森から、図工で使う枝を集めてきました。なんだかとても嬉しそうです。

どんな作品をイメージしているのでしょうか。